

令和 5 年度 学校教育目標

人と自然や地域とかかわる中で、自ら学び、共に生きる力を育む

令和 5 年度 学校経営の重点（詳細版）

「いのち」

（１）児童生徒一人ひとりにとって安心安全で、意欲の高まる学習環境づくり

- ①児童生徒の命を守り、安心して学べる安全で整理された学習環境をつくる
- ②児童生徒の健康と安全を確保するための医療的ケア体制整備の一層の推進を図る
- ③常に危機管理意識を高く持ち、緊急時や災害時に備えた教育の推進

「よりそい」

（２）自他の生命を尊び、ともに心豊かに生きることを目指す人権教育の推進

- ①児童生徒の生活年齢や発達年齢に応じた人権教育の推進
- ②教師の言動全てが「教育」であることを強く認識する
- ③教職員自らが人権尊重することの重要性を深く認識し、行動することで人権感覚豊かな児童生徒を育成する

「つとめ」

（３）児童生徒、教職員、保護者が一体となった生きる力を育む教育の充実

- ①子どもを「できる存在」として捉え、一人一人の子どもの能力や可能性を最大限に伸ばす指導の充実を図る
- ②学習指導要領に照らし合わせた「個別の包括支援プラン」から授業作り・授業改善を行ない、子どもの変容を検証する
- ③社会や人とのつながりの中で児童生徒が学ぶことの価値を見出すとともに、自らの存在価値に気付く学習を推進する
- ④個々の「生きる力」の育成を目指し、児童生徒がＩＣＴ機器を身近に感じ意欲的に学べるよう取り組む
- ⑤「ひかりの森図書館」の積極的な活用を通して、主体的な学びや情報活用能力の向上を図る

（４）全ての教育活動をととした規範意識の育成

- ①児童生徒の生活年齢や発達段階を踏まえ、規律ある生活習慣、ルールを守る態度を育成する
- ②挨拶や清掃活動、集団での具体的活動を通して、人とのつながりを大切にするとともに、ルールや法の重要性を自覚できる取組を推進する

（５）全教職員が「学校経営参画者」として意識し、「より良い学校づくり」に主体的に取り組む

- ①常に情報を共有し、組織的に問題解決に取り組む姿勢を持ち、風通しの良い職場をすすめる
- ②役割分担の明確化とポジションワークの徹底を図り、「働き方改革」に向け実践する
- ③会議の精選やＩＣＴ機器の利用を有効に活用し、積極的に業務改善を図る
- ④物品の整理整頓を心がけ、無駄を無くし、有効な予算執行を行なう

「ひろがり」

(6) 小・中・高一貫したキャリア教育の推進と社会参加の実現

- ①全ての学習活動を通して一人一人のキャリア発達を支援する取組を進める
- ②地域協働活動を推進し、地域の人との協働とふれあいをとおして児童生徒の主体性と社会性を高める取組を推進し、社会に開かれた教育課程の実現を目指す

(7) 総合育成支援教育に関する専門性の向上によるセンター機能の充実

- ①総合支援学校教育研究会や各種研修会等への積極的参加による自己研鑽の推進を図る
- ②外部専門家や外部関係機関との協働・連携の強化を図る
- ③校種間連携を軸にしたセンター機能をより効果的に発揮することで、総合支援学校としての役割を果たす

「つながり」

(8) 校種間連携と交流及び共同学習の推進

- ①校種間連携により引継ぎを確実にし、高等部卒業までの途切れのない支援を推進する
- ②家庭や地域の協力のもと居住地校等との交流及び共同学習を推進し、児童生徒の地域での生活の拡がりをつながりを確かなものとする
- ③地域資源を活用した学習をとおして地域の一般市民とのかかわりをつながりを深め、地域と連携しともに理解しあう取組を推進する

